

# 平成25(2013)年度事業報告書

平成25(2013)年4月1日～平成26(2014)年3月31日まで

特定非営利活動法人 みらい福山

## 1 事業実施について

正会員数(社員) 18名

理事 8名、 監事 1名

会議 理事会 2回 定例会

一番大きな事業である『人権・平和啓発事業』の「みらい座」の朗読劇が12年目にあたる今年度は、ピースグラントから、助成金をもらうこととなり会員に大きな励みと安心をもたらした。みらい福山の大きな課題は、会員の年齢も高齢化等、会員それぞれに様々な事情が生まれてきたこともさることながら、「心を添え」「形に表わす」力はあると思うが、経済力がなく、助成金に頼らざるを得なくなり、事業計画の見直しの時期に来ていると心しているところである。

しかし、この12年間続けてくれている子どもたちが、中学、高校、大学生となり、出演あるいは、低学年の世話をするなど舞台を支えてくれた。若い力が育っていると実感できたところである。

### 人権・平和啓発事業

#### 1) 「みらい座」の公演、第12回

朗読劇 福山空襲 「星に願いを」 “昭和20年あの日あの時”

日時 8/9(金) 14:00～16:00

場所 広島県民文化センターふくやま ホール

**内 容** 出演者は、福山市南小学生9名・城南中学5名・大門高校1名と大学生4名、おとな朗読者6名、コーラス団体13名・ソプラノ中川しのぶさん、フルート柳井恵子さん、39名。スタッフ、(総合制作1名、映像1名、受付4名、カメラ・ビデオ2名)8名 総勢47名。

はじめに 中学生・高校生・大学生によるメッセージ「<sup>あした</sup>未来のために」

朗読劇 福山空襲

★昭和20年(1945年)という年の出来事

\* 「暮らし」と「沖縄」

小学生が、子どもらしく楽しい内にも悲しみを心に伝えます。

\* 「ヒロシマ」

中・高校生・大学生が、恐怖の体験を静かに真剣に伝えます。

\* 「福山空襲 “母子3人像”」

全員で、福山空襲の恐怖と愚かさ「平和の大切さ」を伝えます。

\* 「8月15日 玉音放送を聞いて」

中学生がその日の家族の様子を伝えます。

外地の福山市民のこと

\* 満州にて「金の柄杓」

大学生と中学生による朗読劇です。

福山空襲と同じ頃の「外地・満州」での逃避行の末に起きた、1人の青年と5人の孤児たちの出来事を届けます。

★フィナーレ！ 歌おう みんな一緒に！

中川しのぶ & コール川口 フルート演奏 柳井恵子

♪花は咲く（NHK 東日本支援ソング） ♪届けましょう！（オリジナル）

### **成果と課題** 参加人数 約 300 名

★昭和 20 年の出来事を短時間にまとめ今回の内容でした。

其のことは、演じるものからも参加者からも、その年がどんなに恐怖の年であったかを改めて「知った」と言う声も多くあり、伝え方を改めて学んだ。

★小学生が必ず参加出演してくれているが、中学生が最近いなかった。それが今回は、2009 年と 2011 年に出演してくれた今年中学 3 年生(1 人)と中学 1 年生(4 人)が参加出演。高校生も 1 人新しく加わってくれた。

また今年大学生になった子どもたち（8 年目継続）の 4 名がしっかりと低学年を支えてくれた。その上そして、急に出演不可能になった主朗読者の代役を進んで受けてくれた。

若い芽が育っていると会員全員で確信が持てたことは大きな成果である。

### **課題**

★主朗読者が今回 2 人出演できなかった。一人は 99 歳の父親の介護急変。

一人は仕事の大怪我（施設の監査とも重なる）など。公演日前日のことでのあり、乗り切るこ  
とが出来たが大変であった。

★若者・後継者の育成。

★資金集め。（継続は力）頑張りが大切

## **2) 朗読劇「天明の篝火」**

出演者は、福山市南小学生 3 名・福山市湯田小学生 5 名・中学生 2 名と大学生 7 名、  
おとな朗読者 7 名、蔵王はね踊り保存会 7 名・フルート柳井恵子さん、神辺町の有志 8 人、  
40 名。

スタッフ、(総合制作 5 名、受付 9 名、) 14 名

総勢 54 名

### **内 容**

実行委員会に、演出・脚本、事務局、出演者、スタッフとして参加した。

## **② 男女共同参画社会推進事業**

★ 男女共同参画推進員 出前講座 ボランティア 5 回。

地域老人会・女性会

★ 相談・支援活動・・・子育てサポーターとして

★ 行政との協働による男女共同参画推進啓発事業への参画・参加支援活動

半年間の実行委員会議に出席し、「2013 ふくやま男女共同参画フォーラム」の実行委員  
として、会員 4 名が企画関係で行政ともに参画し、二日間を盛り上げた。

## **③ 高齢者ライフ相談・支援事業**

1) 相談・支援活動・・・10 回、会員シニアライフアドバイザーによる「元気コム」を小地  
域で開催。コンサートや講演など「学びの場」を創造した。

## **④ 会報誌 ニュースレター 40 号～ 44 号発行**

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲人数	支出額
人と人が紡ぎ合い、つながりあって創る町づくり事業 (人権・平和啓発事業)	「みらい座」公演 第12回朗読劇 福山空襲	8/9(金) 14:00開演	県民文化センターふくやまホール	47人	市民 300人	429,776円
	朗読劇「天明の篝火」実行委員会に参加	3/16 (日)	神辺文化センター	54人	市民 800人	0円
	「みらい座」出前講座 福山空襲の朗読劇 の出前講座	1回	施設など	4人	市民多数 施設患者 50人	0円
男女共同参画社会実現のための事業 (男女共同参画推進事業)	男女共同参画推進員等による講座・学習会など開催 (出前あり)。	5回	公民館・イコールふくやま	3人	不特定多数	0円
	支援 子育てサポーター		幼稚園 保育所 小学校	1人	人 人 人	0円
	行政との協働事業参画 2013参画フォーラム 実行委員	10/30 (水) 11/9(土)	県民文化センターふくやま イコールふくやま	4人	不特定多数	0円
高齢者のライフステージにおける相談・支援事業 (高齢者福祉事業)	相談・支援活動	10回	駅家町服部コミュニティ館	2人 シニアアドバイザー	高齢者 200人	0円
						429,776円

他みらい福山諸事務費等支出 47,229円

\*

## 2013 年度特定非営利活動に係る事業会計財産目録

2014 年 3 月 31 日現在

特定非営利活動法人 みらい福山

科目・摘要	金 額		
資産の部			
1 流動資産			
現金	34,982		
貯金	153		
流動資産合計		35,135	
2 固定資産	0		
固定資産合計		0	
資産合計		35,135	
II 負債の部			
1 流動負債	0		
流動負債合計		0	
2 固定負債	0		
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			35,135

2013年度特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

2014年3月31日現在

特定非営利活動法人 みらい福山

科目・摘要	金額		
資産の部			
1 流動資産			
現金預金	35,135		
未収入金	0		
流動資産合計		35,135	
2 固定資産	0		
固定資産合計		0	
資産合計		35,135	
II 負債の部			
1 流動負債	0		
流動負債合計		0	
2 固定負債	0		
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		12,140	
当期正味財産増加額		22,995	
正味財産合計			35,135
負債及び正味財産合計			35,135

NPO法人 みらい福山 2013年度収支決算書

2013年4月1日～2014年3月31日

	摘 要	金 額	内 訳
収入の部	前期繰越	12,140	
	会 費	39,000	3,000円×13名
	助 成 金	150,000	ピースグラント
	一般カンパ	121,000	みらい座 95,500円・その他25500
	チケット代	97,000	みらい座 97,000円
	会員カンパ・負担金	90,000	
	出前講座	3,000	
		預金利息	
	収入合計	500,000	
	総合計	512,140	

	摘 要	金 額	内 訳
支出の部	事務用消耗品費	59,196	朗読劇29,757円・その他29,439円
	印刷・複写費	46,200	朗読劇46,200円
	通 信 費	13,390	朗読8,600円・その他4,790円
	会 場 費	148,670	朗読劇148,670円
	交 通 費	12,009	朗読劇12,009円
	会 議 費	22,515	朗読劇22,515円
	負 担 金	13,000	つれのうて、福山市社会福祉協議会・NPOひろしま
	謝 金	82,000	朗読劇
	舞台製作費	75,000	朗読劇
	諸税・手数料	25	
	雑 費	5,000	朗読劇5,000円
		支出合計	477,005
	繰越金	35,135	現金34,982円 預金153円